

# プログラム

11月18日(金)

開会の辞

8:55~9:00【大ホール】

第39回日本潰瘍学会 会長 谷中 昭典

一般演題 I 「消化管の生理」

9:00~9:24【大ホール】

司会：中村 正彦 (北里大学 薬学部病態解析学)

大和 滋 (国立精神・神経医療研究センター病院)

- OS-1** ヒスタミン2型受容体ノックアウトマウスの胃粘膜アクアポリン4発現  
福原 誠一郎<sup>1</sup>、鈴木 秀和<sup>1</sup>、松崎 潤太郎<sup>1</sup>、津川 仁<sup>1</sup>、平田 賢郎<sup>1</sup>、岡田 佐和子<sup>1</sup>、  
阿部 陽一郎<sup>2</sup>、福嶋 康之<sup>3</sup>、安井 正人<sup>2</sup>、日比 紀文<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学 医学部 内科学教室 (消化器)、<sup>2</sup>慶應義塾大学 医学部 薬理学教室、  
<sup>3</sup>東京駅センタービルクリニック
- OS-2** Coricotropin-releasing factor 2受容体アゴニストは胃神経性弛緩を増強させる：  
機能性ディスペプシアにおける適応性弛緩改善の可能性  
大和 滋、有賀 元、樽松 文子、天野 智文  
国立精神・神経医療研究センター病院
- OS-3** 摘出マウス下部消化管標本におけるアリルイソチオシアネートのワサビ受容体  
TRPA1を介する平滑筋収縮作用 - NK1受容体とNK2受容体の関与 -  
田嶋 公人、松本 健次郎、堀江 俊治  
城西国際大学 薬学部 薬理学研究室

司会：市川 尊文(北里大学 医療学部遺伝生化学)  
加藤 伸一(京都薬科大学 薬物治療学)

- OS-4** ラット急性逆流性食道炎モデルに対するアミノ酸の効果  
- L-アルギニン及びグリシンの保護作用について  
長濱 顕司、天ヶ瀬 紀久子、加藤 伸一、村上 季子、竹内 孝治  
京都薬科大学 病態薬科学系 薬物治療学分野
- OS-5** 麻酔下ラットにおけるワサビ辛味成分アリルイソチオシアネートの胃粘膜傷害性：  
粘膜血流と血管透過性亢進の関与  
田嶋 公人、松本 健次郎、堀江 俊治  
城西国際大学 薬学部 薬理学研究室
- OS-6** アスピリンおよびアレンドロネートによる胃粘膜傷害とその予防薬の検討  
根本 麻未、福本 敦、谷中 昭典  
東京理科大学 薬学部 臨床薬理学
- OS-7** リコンビナント・トロンボモジュリンはマウスDSS腸炎を改善する  
上田 俊秀、穂苅 量太、三浦 総一郎  
防衛医科大学校 内科学講座
- OS-8** ヘム分解産物が胃上皮細胞のVEGF産生とrestitutionに及ぼす効果  
恩田 健二<sup>1</sup>、川原 大史<sup>1</sup>、大見 貴正<sup>1</sup>、松井 裕史<sup>2</sup>、平野 俊彦<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京薬科大学 薬学部 臨床薬理学教室、<sup>2</sup>筑波大学人間総合科学研究科
- OS-9** 胃潰瘍治癒に対するHSP70の促進効果  
石原 知明、水島 徹  
慶應義塾大学 薬学部

## 一般演題 III 「酸化ストレス」

10:12~10:44【大ホール】

司会：城 卓志 (名古屋市立大学大学院 消化器・代謝内科学)  
内藤 裕二 (京都府立医科大学 消化器内科)

### OS-10 ストレス惹起胃粘膜傷害に対するプロトフォールの予防効果

太田 好次<sup>1</sup>、今井 洋一郎<sup>2</sup>、小林 隆<sup>3</sup>、芳野 純治<sup>3</sup>

<sup>1</sup>藤田保健衛生大学医学化学、<sup>2</sup>藤田保健衛生大学医療科学部臨床工学科生化学、  
<sup>3</sup>藤田保健衛生大学第2教育病院

### OS-11 小腸虚血再灌流傷害における炎症制御：BTB and CNC homolog 1 (Bach1) の役割

堅田 和弘<sup>1</sup>、内藤 裕二<sup>1</sup>、高木 智久<sup>1</sup>、飯田 貴弥<sup>1</sup>、寄木 浩行<sup>1</sup>、水島 かつら<sup>1</sup>、  
辻 俊史<sup>1</sup>、福居 顕文<sup>1</sup>、内山 和彦<sup>1</sup>、石川 剛<sup>1</sup>、半田 修<sup>1</sup>、八木 信明<sup>1</sup>、古倉 聡<sup>1</sup>、  
市川 寛<sup>2</sup>、武藤 哲彦<sup>3</sup>、五十嵐 和彦<sup>3</sup>、吉川 敏一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都府立医科大学大学院 医学研究科 消化器内科学、  
<sup>2</sup>同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科、<sup>3</sup>東北大学大学院 医学研究科 生物化学分野

### OS-12 上腸間膜動脈狭窄による新規虚血性腸炎モデル

村上 季子、天ヶ瀬 紀久子、加藤 伸一、竹内 孝治  
京都薬科大学 病態薬科学系 薬物治療学分野

### OS-13 癌における細胞膜流動性変化の光学的捕捉

金子 剛、松井 裕史、兵頭 一之介  
筑波大学 消化器内科

## 一般演題 IV 「NSAID」

10:50~11:22【大ホール】

司会：樋口 和秀 (大阪医科大学 第二内科)  
溝上 裕士 (筑波大学 消化器内科)

### OS-14 NSAIDs並びに酸環境暴露はミトコンドリア障害を惹起する

長野 由美子、松井 裕史  
筑波大学大学院 人間総合科学研究科

### OS-15 マウスインドメタシン起因性小腸傷害に対する各種薬剤の予防効果についての検討

佐藤 淳哉、福本 敦、谷中 昭典  
東京理科大学 薬学部 臨床薬理学

### OS-16 NSAIDによる小腸粘膜傷害に対するレバミピドの効果

佐々木 誠人、舟木 康、小笠原 尚高、飯田 章人、春日井 邦夫  
愛知医科大学 消化器内科

### OS-17 胃潰瘍を起こしにくいロキソプロフェン誘導体、フルオロロキソプロフェンに関する研究

末益 慎太郎<sup>1,2</sup>、山川 直樹<sup>2</sup>、水島 徹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学大学院 薬学研究科、<sup>2</sup>熊本大学大学院 生命科学研究部

一般演題 V 「ヘリコバクター」

11:22~11:54【大ホール】

司会：鈴木 秀和 (慶応義塾大学 医学部内科学 (消化器))  
池澤 和人 (筑波記念病院 消化器内科)

OS-18 *Helicobacter heilmannii*感染による胃MALTリンパ腫病態形成時における  
宿主遺伝子発現の解析

高橋 哲史<sup>1</sup>、中村 正彦<sup>1</sup>、松井 英則<sup>2</sup>、関谷 幸江<sup>2</sup>、土本 寛二<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北里大学 薬学部 病態解析学、<sup>2</sup>北里大学 北里生命科学研究所 感染症学

OS-19 胃、肝、肺MALTリンパ腫形成および進展における微小循環系の関与  
- c-MET, HGFとの関連 -

中村 正彦<sup>1</sup>、高橋 哲史<sup>1</sup>、松井 英則<sup>2</sup>、土本 寛二<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北里大学 薬学部 病態解析学、<sup>2</sup>北里大学 北里生命科学研究所

OS-20 ヘリコバクターピロリ感染に対する幼少期の衛生環境の影響について

廣瀬 充明<sup>1</sup>、鈴木 英雄<sup>1</sup>、廣島 良規<sup>1</sup>、遠藤 慎治<sup>1</sup>、金子 剛<sup>1</sup>、奈良坂 俊明<sup>1</sup>、  
森脇 俊和<sup>1</sup>、松井 裕史<sup>1</sup>、溝上 裕士<sup>1</sup>、兵頭 一之介<sup>1</sup>、谷中 昭典<sup>2</sup>

<sup>1</sup>筑波大学附属病院消化器内科、<sup>2</sup>東京理科大学薬学部臨床薬理学

OS-21 *Helicobacter pylori*除菌療法が胃過形成性ポリープに与える影響

徳永 健吾、田中 昭文、高橋 信一

杏林大学 医学部 第三内科

ランチョンセミナー I

12:00~13:00【大会議室 102】

「エグアレンナトリウムの消化管における新たな作用」

司会：岡部 進 (京都薬科大学)  
共催：寿製薬株式会社

LS-1 エグアレンナトリウムの小腸損傷抑制作用機序

野々山 兼市

寿製薬(株) 薬理研究室

LS-2 エグアレンナトリウムのNSAID小腸損傷、虚血再灌流胃傷害、及び  
抗血栓薬/塩酸アスピリンによる胃出血に対する効果

竹内 孝治

京都薬科大学 薬物治療学

評議員会・総会

13:10~13:40【大ホール】

**SL-1** 視床下部オレキシン系 - オーフアンGPCRから医薬ターゲットへ -

柳沢 正史

筑波大学、テキサス大学サウスウェスタン医学センター、ハワード・ヒューズ医学研究所

**International Symposium in honor of Professor William Silen  
"Recent Advance in Ulcer Research"**

14 : 55 ~ 17 : 15 【Main Convention Hall】

Organized by Koji Takeuchi (Kyoto Pharmaceutical University)

**IS-1** Activation of Muscarinic Acetylcholine Receptor Subtype 4 is Essential for Cholinergic Stimulation of Acid Secretion in Mice: Relation to D Cells/SomatostatinKoji Takeuchi<sup>1</sup>, Shusaku Hayashi<sup>1</sup>, Kikuko Amagase<sup>1</sup>, Shinichi Kato<sup>1</sup>, Susumu Okabe<sup>1</sup> and Minoru Matsui<sup>2</sup><sup>1</sup>Division of Pathological Sciences, Department of Pharmacology and Experimental Therapeutics, Kyoto Pharmaceutical University, Kyoto, Japan;<sup>2</sup>Faculty of Pharmacy, Chiba Institute of Science, Chiba, Japan**IS-2** Gastrointestinal HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> Transport in the New Millennium: New Techniques, Transporters, and Physiological Functions

Ursula Seidler

Department of Gastroenterology, Hannover Medical School, Hannover, Germany

**IS-3** Adaptive Cytoprotection and Cancer Chemoprotection by Sulforaphane Against Various Stresses - Role of nrf2-keap1 Dependent and Independent Pathways -

Akinori Yanaka

Department of Clinical Pharmacology, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokyo University of Science, Noda, Japan

**IS-4** Cell Death, Acid Secretion and *Helicobacter pylori*-Discoveries in Boston

Shin'ichi Takahashi

Department of Internal Medicine, Kyorin University School of Medicine, Mitaka, Japan

**IS-5** Tight Junction Claudins as Novel Components of the Gastric Mucosal Defense System

Susan J. Hagen

Beth Israel Deaconess Medical Center and Harvard Medical School, Boston, USA

イブニングセミナー

17:20～18:40【大ホール】

「内視鏡検査における抗血栓療法について - 抗血栓薬ガイドラインを受けて - 」

司会：藤本 一真 (佐賀大学 医学部内科学)

共催：エーザイ株式会社

ES-1 内視鏡医の立場から

藤城 光弘

東京大学医学部附属病院 光学医療診療部

ES-2 脳血管内科医の立場から

北園 孝成

九州大学大学院 病態機能内科学

特別発言 荒川 哲男 (大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学)

学会懇親会

19:00～21:00

【オークラフロンティアホテルつくば 本館『ジュピター』】